



エヴィック株式会社

2012 業務概要

可能性は、エヴィックが拓げるー

情報処理部

運用システム開発課・
運用管理課

情 報処理部では、創業以来長きに渡り、番組データという特殊なデータを扱ってきた経験に基づき、クライアント企業に常駐し、コンテンツ配信業務、システム運用管理、インフラ業務、社内開発業務等を一手に引き受けています。

当初はオペレーションとしてスタートした業務ですが、技術革新により日々迫られるシステム変更の要請やクライアントの業態変革に伴う新たなワークフロー構築の必要性にも柔軟に対応し続け、現在ではシステム開発からコンサルティングまで手がけています。

point/

1.

番組表データの配信

配信データの作成から印刷所への納品までの一連の作業を手がけています。印刷所ごとに対応した文字のチェックやデータに不備がないか漏れなくチェックするワークフローを構築し、日々信頼性の高いデータを安定供給しています。

point/

2.

EPGデータの配信

配信データの作成から、各種エラーチェック、データ配信業務までを行っています。また、各クライアントへのチャンネル変更情報や配信スケジュール等を伝える連絡窓口も務めています。

point/

3.

DBからの必要データの抽出、メンテナンス

ニーズに沿ったDBからの必要データの抽出をはじめ、日々膨大化していくDBのメンテナンスも手がけています。

point/

4.

番組表に関わるコンテンツの作成配信

新規案件の仕様構築から排出プログラムの作成、フローの構築、そして実際のデータ作成業務まで含め、技術提供しています。

point/

5.

社内プログラムの作成

主にACCESS・VBを使用し、コンテンツ作成プログラムやチェックプログラムの作成をしています。

また業務フロー等の見直しや作業者の負荷を軽減できるようなプログラムの作成・提案も手がけ、常に業務改善に務めています。

point/

6.

インフラ業務、きめ細やかなトラブル対応

社内機材のトラブル対応をはじめ、端末のセットアップや各種台帳管理も行っています。また必要に応じて、簡易なLAN配線等のネットワーク環境構築サービス等も提供します。

point/

7.

サーバー、ネットワーク環境の監視

DB・APサーバーの運用／監視、またネットワーク環境の監視を行い、トラブルが発生した際には、一次窓口として対応。必要に応じて、ベンダーへの連絡や折衝も担当しています。

情報処理部

DTP部門

DTP部門は、雑誌組版作業の内製化を希望するクライアント企業の要望に応えるべく、2006年に創設されました。

クライアント企業に専任スタッフを常駐させることにより、スピーディかつ合理的なワークフローを実現、専門的な知識とスキルに基づいて作成した高品質な組版データを安定供給してきました。

現在では、DTP環境構築に関する技術的な相談、制作ワークフローへのアドバイスや提案も含め、よりクライアントの実情に即したサポートを行っています。

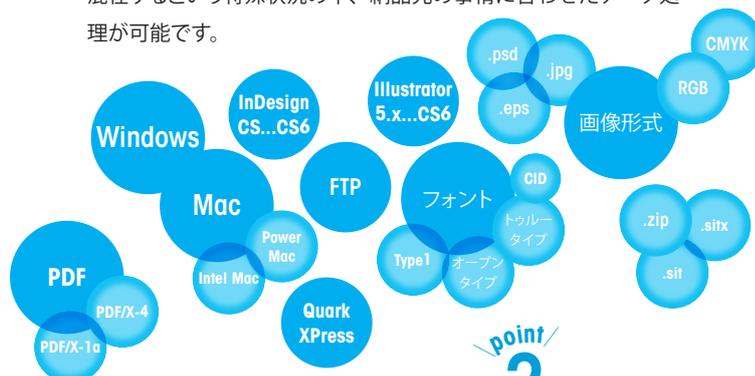
point/

1.

データチェック

多様な技術レベルで作成されるデータを日々チェックし、印刷に適した形に変換する作業を行っています。

制作環境の違いに起因する諸問題にも精通し、ネットワーク、アプリケーション、プラットフォーム…すべてにおいて多様な環境が混在するという特殊状況の下、納品先の事情に合わせたデータ処理が可能です。



point/

2.

組版業務

正規表現を使用したテキストの整理、各種スタイルの作成をはじめ、アプリケーションの機能を最大限に生かしたフォーマットを作成することで、業務の効率化を図っています。

また、セミナーや情報交換の場を通じてオペレーターひとりひとりの技術向上に努めることはもちろんのこと、データ結合、JavaScript等の自動化技術をバランスよく取り入れることにより、より効率的かつミスのない組版作業を実現しています。

point/

3.

校正作業

統一表記の確認から誤字・脱字のチェックに加え、ミリ単位でのレイアウト確認を実践。媒体ごとの規定を把握したスタッフの豊富な経験と専門知識に基づき、きめ細やかな校正を行います。

目視での確認を遂行すると同時に、PDFの比較による差分チェックやJavaScriptによる座標チェック等を併用することで、人為的ミスをフォロー、データの正確性を高めています。

point/

4.

XML

新規組版業務では、XML化による自動組版を積極的に実践しています。また既存の印刷データから抜き出したテキストをXML化することにより、データの二次利用を簡易化することに成功。同一データを効率よく、多媒体で展開しています。

point/

5.

トラブル対応

入稿方法やアプリケーション・プラグイン・OS関連の技術的なサポート、データ管理に関する相談、電子書籍作成方法等の新技術についての問い合わせやにも真摯に対応。豊富な知識に基づき、制作ワークフロー改善のための提案も積極的に行っています。